

#### 4-7 低水流量のまとめ

前項までの調査結果から低水流量の状況について特性をまとめると次のようなことが言える。

- ・低水流量は降雨などの気象状況に大きく左右されており、降雨が多ければ低水流量も多く、降雨が少なければ低水流量も少ない。(年間降雨量の60～90%程度が流出)ただ、昭和29年以降の経年的な変化を見ると大きな変化はない。
- ・低水流量の1年間の変化としては、雨の多い夏場には低水流量も多く雨の少ない冬場には低水流量も少なくなる。
- ・池田ダム流入量は、豊水、平水、低水流量はほとんど変化がないが、渇水流量は増加傾向にある。これはS50年の早明浦ダムの完成によるものである。
- ・池田ダム下流の岩津、中央橋、高瀬橋地点では、早明浦ダムの完成及び、香川用水、徳島北岸用水の完成に伴い、豊水、平水、低水流量は減少傾向、渇水流量は増加か横ばいの傾向になっている。